2018 年 3 月 4 日(9 週目) 主日礼拝　　「サミットの答え」(使徒 18:1-11)

今、ある問題は神様がサミットの伝道が出来るようにしてサミットの答えを与えるためです。

1.コリントの問題	2.唯一の答え	3.サミットの答え	4 部礼拝「国家のための祈り」(Ⅱ列 19:35)
▲使徒パウロが大都市のコリントで伝道をした。 ▲コリントは霊的な問題があった。 1)偶像(Ⅰコリ 10 章) (1)コリントは多くの偶像があった。 (2)偶像は悪霊と交わり悪霊を自分に招く(Ⅰコリ 10:20) (3)日本でも偶像を文化として騙されている。 2)淫乱(Ⅰコリ 5 章) ・堕落して不品行の生活をしていた。 3)貪欲(Ⅰコリ 6 章) (1)利己心のために争いの問題がある。 **(2)経済的に発展したが神よりもお金が大事になっていた。**	▲問題を持った人が増えているがどうすればその状態から癒されるか。 1)ただキリストに結論 (1)ヨハネ 19:30(イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった) ①解答はキリストのみ－全ての問題を完了された。 ②罪・サタン・地獄の問題を完全に解決をされた。 ③過去(傷)・現在(悩み)・未来(心配・地獄の問題)の全ての問題を解決をされた。 (2)ガラテヤ 2:20(私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです) (1)問題の理由－自分が主人となっているから。 (2)キリストが私の主人となるように。 2)ただ神の国に集中－使徒 1:3(イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された) (1)40 日間の集中(神の国のことに集中) －イエス・キリスト・福音の御言葉に集中をする。 (2)復活をした主が主人となる。 (3)聖徒がキリスト以外の者に執着をしたり何かに捕らわれるのではない。 (4)教会の内部では互いに愛し合い、共にチームとなり伝道をする。 3)ただ聖霊の満たしと証人－使徒 1:8(しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」) (1)10 日間の祈り－聖霊の満たしを祈った。 (2)五旬節－40 日間の集中＋10 日間の祈り(50 日) －聖霊の満たしを受け証人となる	1)アクラとプリスキラ－使徒 18:2-3(ここで、アクラというポント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。クラウデオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命令したため、近ごろイタリヤから来ていたのである) (1)アクラ(夫)はユダヤ人でプリスキラ(妻)はローマ人である。 (2)夫がユダヤ人である為にローマから追放をされ夫婦共にコリントへ行き天幕作りの仕事をした－経済の損失・不安の問題 (3)パウロが福音を語り福音に結論を下しキリストが主人となる。 (4)パウロと共にコリント・エペソで伝道をした。 (5)ローマ 16:3-4(キリスト・イエスにあって私の同労者であるプリスカとアクラによろしく伝えてください。この人たちは、自分のいのちの危険を冒して私のいのちを守ってくれたのです。この人たちには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています) ①コリント教会・エペソ教会・ローマ教会が建てられた。 ②大きな家を持つほど経済的にも恵まれるようになった。 2)テテオ･ユストと会堂管理者クリスポ－使 18:7-8(そして、そこを去って、神を敬うテテオ・ユストという人の家に行った。その家は会堂の隣であった。会堂管理者クリスポは、一家をあげて主を信じた。また、多くのコリント人も聞いて信じ、バプテスマを受けた) ・テテオ・ユスト＝ガイオ－福音伝達をされキリストに結論を下す。 →コリント教会の家主の役割を果たした(モデル的な人物)。 3)主の完全な保護－使徒 18:9-10(ある夜、主は幻によってパウロに、「恐れないで、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから」と言われた) ①パウロが長い時間に伝道をしたのがコリント(1 年 6 か月)。 ②神様はコリントには主の民がたくさんいるから恐れるなと言う。 ③私たちの関係する人々は救われる人である。 ④パウロの裁判をしなかったので、コリントの市民がユダヤ人の会堂長を追放した－パウロを襲おうとした人を人々が逆に被害を受けた。 ▲結論 1.チーム－使徒 18:5 礼拝のチーム 伝道のチーム 2.サミット 霊的サミット 技能サミット 文化サミット	▲序論 国家をおいて共に祈りをするべきである。国の民族と指導者のために祈るべきである。 ▲本論 1．ダビデのようなヒゼキや王(Ⅱ列 18:1―12) 1)Ⅱ列 18:3 (主の目にかなう)(ダビデ) 2)Ⅱ列 18:4(偶像を砕く) 3)Ⅱ列 18:7－12 2．アッシリヤの侵略 (Ⅱ列 18:13－21) 1)Ⅱ列 18:14 2)Ⅱ列 18:15－16 3)Ⅱ列 18:21 3．ヒゼキヤ王の祈り (Ⅱ列 19:14－35) 1)Ⅱ列 19:14 2)Ⅱ列 19:15 3)Ⅱ列 19:16 4)Ⅱ列 19:19 ▲結論 1．ヤコブ 5:16 義人の祈り 2．伝道者の祈り (使徒 2:1－47) 3．集まった者たちの祈り (使徒 22:1―15)

区域地教会(2018 年 3 月 4 日～3 月 10 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

1)イエスわが王を賛美で迎えん　栄光の主の御座を　もうけたまえ主よ
　私は神のもの　ゆえに神にささげん　御心のままにおさめよ　主イエスよ
2)イエスわが王よ　ここに来られ　われが主にささぐ　賛美受けたまえ
　われは主のしもべ　主はわれらのきみ　主なるイエス来られ　賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】　「サミットの答え」(使徒 18:1-11)

【讃美】　271　豊かな実りの時はきた

【祈り】

①教会の祈りの課題
- 「決断」「正しい癒し」「サミットの祝福」(本部元旦メッセージ)の成就のために。
- 「日本と世界を生かす教会」(使徒 11:19－30)(福音宣教教会元旦メッセージ)の成就のために。
- 3 今日(御言葉、祈り、伝道)、 3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
- 御国イザヤ牧師に聖霊充満と 5 つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。　アーメン

講壇メッセージを通した御言葉・祈り・伝道			
御言葉黙想			
祈り			
伝道			
今週のミッション	・御言葉の黙想・暗唱・書き起こし ・霊的な呼吸の祈り		

呼吸の祈り

	息を吐き出す時	息を吸い込む時
福音	私の悩みと心配を主に委ねます	イエス・キリストは全ての問題の解決者です
信仰	私の不信仰を取り去って下さい	私に御言葉を信じる信仰を下さい
御言葉	私の罪を許して下さい	私に御言葉に従う信仰を与えてください
霊	私を邪魔するサタンの力は イエス・キリストの名で打ち砕かれよ	私に聖霊充満を与えて下さい
感謝	私の過去の傷を全て捨てます	全ての事を感謝させて下さい

福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ
名古屋市中区栄 5 丁目 23－8／tel:052-238-6003
主日(日曜)1 部礼拝 7:00 ／ 2 部礼拝 10:00 ／ 3 部礼拝 12:00